

田水郷通信



第8回農美里フォトコンテストふるさと賞作品
「雪中田植」

～次代に向けて^{たすき}田水郷をつなぐ みやぎの農業・農村～

(第3期みやぎ農業農村整備基本計画キャッチフレーズ)

優良な生産基盤(田), 生産に欠かせない農業用水(水), 美しい景観や伝統・文化(郷)。次代へ継承すべきこれら「みやぎの宝」を維持・発展させ、未来へつなぐ農業農村整備事業。

本誌ではみやぎの農業農村整備事業や「田」「水」「郷」にまつわる情報とその魅力をたっぷりとお伝えしていきます。

◆ Topics

- 田んぼダム出前講座を開催しました
- 田んぼダムの模型を使った実験動画を公開しています
- 勿龍地区ドローンセンシング調査結果報告会を開催しました
- 田水郷コラム「豊作祈願! 正月の伝統行事」

田んぼダム出前講座を開催しました

前号で紹介した、農村振興課職員手作りの田んぼダムの模型を活用し、令和3年9月30日に古川南中学校、令和3年11月2日に古川第5小学校で出前講座を開催しました。

講座では、スライドを用いて田んぼダムの仕組みや効果、特徴を説明した後、模型を使って水理実験を行い、田んぼダムの「ゆっくり排水する」効果を実際に体験してもらいました。

講座後のアンケートでは、生徒から「田んぼダムでは、通常の田んぼより住宅地に水が到達するまでの時間が大幅に遅くなることが模型実験からわかった」「豪雨が起きたときに田んぼダムが洪水軽減に繋がることをたくさんの人に知ってもらい、少しでも多くの人に取組んでもらいたいと思った」などの感想が寄せられました。



古川南中学校での説明の様子



模型の説明を聞く中学生たち

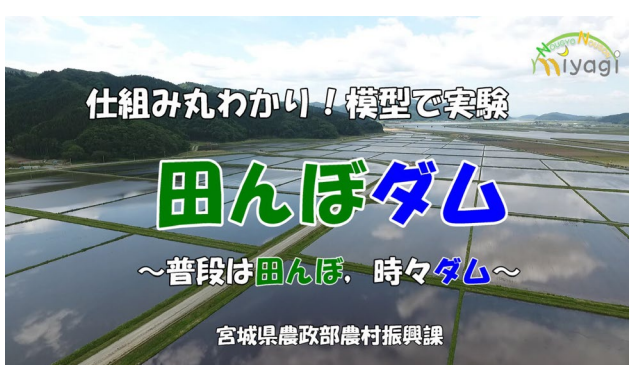


古川第5小学校での説明の様子



古川第5小学校での水理実験の様子

田んぼダムの模型を使った実験動画を公開しています



田んぼダムの普及促進にあたり、誰でも簡単に田んぼダムの仕組みやその効果を理解できるように、模型を使った水理実験の動画を宮城県のYouTube公式チャンネルにて公開しています。詳しくは農村振興課HPをご覧ください。
(<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/>)

動画はこちら→
(YouTube)



芻龍地区ドローンセンシング調査結果報告会を開催しました

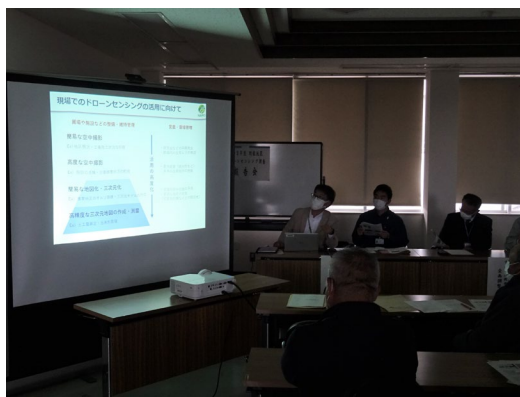
農業競争力強化基盤整備事業「^{はねりゅう}芻龍地区」(大崎市鹿島台)において、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(コミュニケーションネーム:農研機構)の協力を得て、令和2年度からドローンセンシングによるほ場環境の調査を行っています。

本調査は、ドローンによる空撮や三次元化技術等により、ほ場内の高低差や作物の生育ムラなどの情報を可視化することで、施肥量の調整など営農条件の改善に活用し、営農コストの削減や収量の増加に繋げていくことをねらいとしています。

この度、ほ場整備前～施工後の一連の調査データが取りまとまったことから、地区の担い手及び関係機関参集のもと、情報提供と意見交換を目的として報告会を開催しました。

報告会では、営農条件の改善に繋がる技術とあって、今後の活用方法等について活発な意見交換が行われました。

今後は更に調査を続け、担い手の方々や関係機関とも連携を取りながら、施肥管理への応用等について検討を進めていきます。



農研機構研究員からの説明



意見交換会

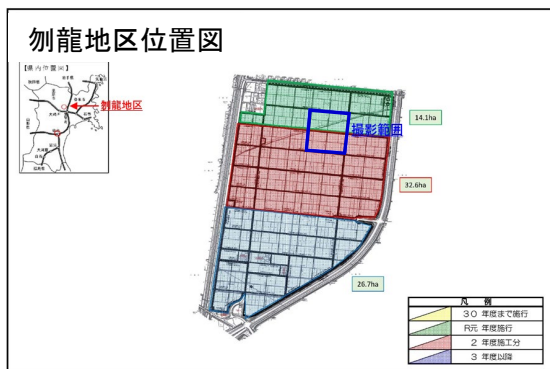
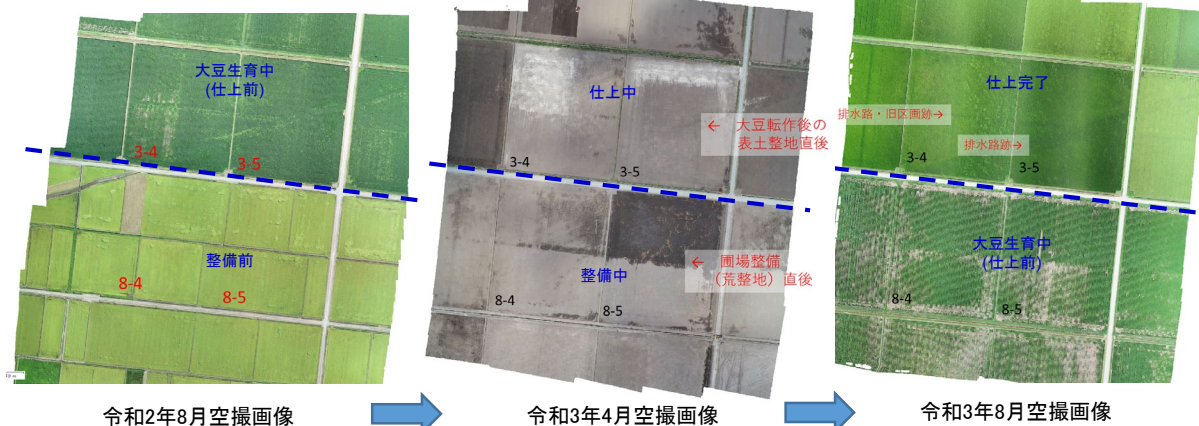


図1 ドローン空撮・3次元化技術を活用した農地基盤情報の可視化 (栗田原図・農研機構技報5号p19より引用)

芻龍地区空撮資料



出典・資料提供: 農研機構 農村工学研究部門 農地基盤情報研究領域 空間情報グループ 栗田上級研究員 「ドローンセンシングおよび三次元化技術を用いた圃場環境と農地基盤のモニタリング」

たすき 田水郷コラム 「豊作祈願！正月の伝統行事」

今年もあっという間に月日が過ぎ、残すところあと数日となりました。もうすぐお正月がやってきますね。正月は本来、その年の豊穰を司る歳神様をお迎えする行事で、農業・農村と密接な関わりがあり、各地で豊作祈願や作柄を占う行事が行われます。

今回は、宮城県に伝わる数ある正月の伝統行事の中から、「雪中田植」と「御弓神事・流鏑馬」についてご紹介します。

せっちゅうたうえ
雪中田植



雪中田植は、大崎市鳴子温泉鬼首地区で60年ほど前まで各家庭で盛んに行われていた、豊作を祈願する小正月の伝統行事です。「女の年取り」とも呼ばれ、女性が野良着に蓑を羽織り、頭には笠をかぶって、稲わらに大豆を付けたものを雪が積もった田んぼに植え付けます。

近年、当時の行事を再現する催しが開催されており、神社参りやかんじき歩き体験なども行われます。

おゆみしんじ・やぶさめ
御弓神事・流鏑馬



御弓神事・流鏑馬は、涌谷町の県指定無形民俗文化財「笹岳・白山祭」の行事です。古式に則り、数百年にわたって引き継がれている伝統行事で、2人の幼児が6本ずつ計12本の矢を射り、その年の天候や作柄を占います。祭が行われる菟峯寺（こんぼうじ）境内には、807年に坂上田村麻呂が建立したと伝えられる観音堂があり、奥州三観音の一つに数えられています。

～宮城県農業農村整備関係部所一覽～

県庁農政部

農山漁村なりわい課 022-211-2657

農山漁村調整班，交流推進班

中山間振興班，6次産業化支援班

農村振興課 022-211-2861

指導班，企画調整班，地域計画班，

技術管理班，広域水利調整班，

農村整備課 022-211-2871

事業経理班，換地・用地班，ほ場整備第一班

ほ場整備第二班，防災対策班，水利施設保全班

県出先機関

大河原地方振興事務所 農業農村整備部 0224-53-3111

仙台地方振興事務所 農業農村整備部 022-275-9111

北部地方振興事務所 農業農村整備部 0229-91-0701

北部地方振興事務所 栗原地域事務所 農業農村整備部

0228-22-2111

東部地方振興事務所 農業農村整備部 0225-95-1411

東部地方振興事務所 登米地域事務所 農業農村整備部

0220-22-6111

気仙沼地方振興事務所 農業農村整備部 0226-24-2121

王城寺原補償工事事務所 022-345-5175

問い合わせ先

〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号

宮城県農政部農村振興課企画調整班

電話：022-211-2863 E-mail：nosonshin@pref.miyagi.lg.jp

農村振興課HP：https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/